安全データシート

Copyright,2022, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	08-0215-7	**版**	18.03
発行日	2022/03/22	**前発行日**	2022/02/07

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
Scotch Weld EW2030

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電子用製品技術部
電話番号	042-779-2179

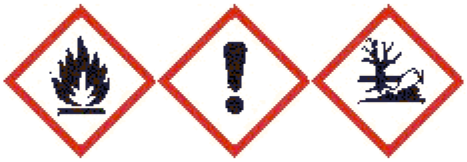
2. 危険有害性の要約

GHS分類
自己発熱性化学品： 区分２
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分１
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分１

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
炎　感嘆符　環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H252	大量の場合，自己発熱：火災のおそれ
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P235	涼しいところに置くこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P410	日光から遮断すること。
P413	1kg以上の大量品は、以下の温度で保管すること。
P413A	5℃を越さない。
P420A	別々に保管する。
P407A	隙間を開けて保管する。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	35 - 45
溶融シリカ	60676-86-0	30 - 40
エポキシ系希釈剤	営業秘密	5.0 - 10
補強剤	営業秘密	1.0 - 10
ジシアンジアミド	461-58-5	3.0 - 7.0
ブロックイソシアネート	営業秘密	1.0 - 5.0
エポキシ樹脂	営業秘密	1.0 - 5.0
シリカ	営業秘密	1.0 - 5.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
炭化水素類	燃焼中
塩素	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中
シアン化水素	燃焼中
アンモニア	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
涼しいところに置き、日光から遮断すること。　熱から離して保管する。　5℃以下の温度で保管すること。　積荷／パレット間に隙間をあけること。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　他の物質から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ブロックイソシアネート	営業秘密	事業者の判断	TWA(吸引性エアロゾル)(8時間):1 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： ポリビニルアルコール (PVA)
樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露に対して換気が不十分であれば、呼吸器保護具を着用する。
ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
有機ガスあるいは酸性ガス・粒子半面型ろ過式マスク
有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	灰色
臭い	エポキシ
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*適用しない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない。*
引火点	*データはない。*
蒸発速度	*適用しない。*
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	*データはない。*

燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*適用しない。*
蒸気密度/相対蒸気密度	*適用しない。*
密度	*データはない。*
比重	1.38 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
粘度/動粘度	30,000 mPa-s
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	0 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
危険な重合が起こることがある。

避けるべき条件
熱。
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。
高せん断・高温時
火花ないし炎

混触危険物質
強酸
強塩基
強酸化性物質

火花及び／ないし炎

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
溶融シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
溶融シリカ	吸入ー粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 ＞ 0.691 mg/l
溶融シリカ	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,110 mg/kg
エポキシ系希釈剤	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
エポキシ系希釈剤	経口摂取	ラット	LD50　3,741 mg/kg
ジシアンジアミド	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 10,000 mg/kg
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 30,000 mg/kg
ブロックイソシアネート	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 2,500 mg/kg
ブロックイソシアネート	経口摂取	ラット	LD50　1,480 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
シリカ	吸入ー粉塵/ミスト (4	ラット	LC50 ＞ 0.691 mg/l

	時間)		
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	ウサギ	刺激物
溶融シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ系希釈剤	ウサギ	刺激物
ジシアンジアミド	ヒト及び動物	わずかな刺激
ブロックイソシアネート	類似化合物	軽度の刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	ウサギ	刺激性なし
溶融シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ系希釈剤	ウサギ	激しい刺激
ジシアンジアミド	専門家による判断	軽度の刺激
ブロックイソシアネート	類似化合物	中程度の刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	多種類の動物種	感作性あり
溶融シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エポキシ系希釈剤	多種類の動物種	感作性あり
ジシアンジアミド	モルモット	区分に該当しない。
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	In vivo	変異原性なし
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
溶融シリカ	In vitro	変異原性なし
ジシアンジアミド	In vitro	変異原性なし

ブロックイソシアネート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ブロックイソシアネート	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
シリカ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
溶融シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	発がん性なし
ブロックイソシアネート	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
溶融シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
溶融シリカ	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
溶融シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期
ジシアンジアミド	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ジシアンジアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	44 日
ジシアンジアミド	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ブロックイソシアネート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	LOAEL 215 mg/kg/day	妊娠期間中
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ブロックイソシアネート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似化合物	NOAEL 非該当	
ブロックイソシアネート	経口摂取	メトヘモグロビン血症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＦ型エ	経口摂取	心臓 | 内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250	13 週

ポキシ樹脂		｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免疫システム ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系			mg/kg/day	
溶融シリカ	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ジシアンジアミド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,822 mg/kg/day	13 週
ブロックイソシアネート	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 800 mg/kg/day	103 週
ブロックイソシアネート	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 65 mg/kg/day	103 週
ブロックイソシアネート	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 520 mg/kg/day	13 週
シリカ	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分１：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分１：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>1.8 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.55 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.6 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキ	9003-36-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.3 mg/l

シ樹脂						
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	液状化	類似コンパウンド	3 時間	IC50	>100 mg/l
溶融シリカ	60676-86-0	鯉	実験	72 時間	LC50	>10,000 mg/l
エポキシ系希釈剤	営業秘密	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
エポキシ系希釈剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	30 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3,177 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>3,200 mg/kg（乾燥重量）
ブロックイソシアネート	営業秘密	Algae Other	実験	24 時間	EC50	0.079 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	魚（その他）	実験	96 時間	LC50	3.3 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	ミジンコ	実験	26 時間	EC50	106 mg/l
ブロックイソシアネート	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	0.01 mg/l
エポキシ樹脂	営業秘密	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	6.28 mg/l
エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1.11 mg/l
エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.051 mg/l
シリカ	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	類似コンパウンド 加水分解		加水分解の半減期（pH7）	86 時間（t 1/2）	OECD 111 pHに応じた加水分解
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThOD	EC C.4.E クローズドボトル法
溶融シリカ	60676-86-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ系希釈剤	営業秘密	推定値 加水分解		加水分解の半減期	6.87 日（t 1/2）	非標準的な手法
エポキシ系希釈剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	47 % BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	0 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 水生固有生分解性	14 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	0 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	61 日	二酸化炭素の発生	1.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 309 好気的表層水生分解性シミュレーション試験
ブロックイソシアネート	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2.1 % BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
エポキシ樹脂	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThOD	OECD 301F
シリカ	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	≤3.6	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー

溶融シリカ	60676-86-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ系希釈剤	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.9	推定値：生態濃縮係数
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 BCF－鯉	42 日	生物濃縮係数	<=3.1	OECD305-生体濃縮度試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.52	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
ブロックイソシアネート	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.94	非標準的な手法
エポキシ樹脂	営業秘密	推定値 BCF－鯉	28 日	生物濃縮係数	<42	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
シリカ	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名：　３０８８ 自己発熱性物質（有機物）（固体）

輸送分類（IMO）：4.2　自然発火性物質

輸送分類（IATA）：4.2　自然発火性物質

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
海洋汚染防止法：環境有害物質

船舶安全法、航空法：自己発熱性物質
本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカに該当しない。

主な法規制物質

	法規名		
成分	**安衛法（表示・通知）**	**化管法**	**毒劇法**
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

16. その他の情報

改訂情報
セクション５：火災時情報（消火剤）　情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。